

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

実は組織強化に“お手本”はない…？

強い組織、強い現場を作るための、やさしい現代マネジメント！

【ピンチにもチャンスにも強い“組織”】

様々な“障害”を力強く克服し、訪れる“チャンス”は決して逃さない体制は、“組織のお手本”のような存在に見えます。

しかし、そんな組織にも“問題”がないとは言えないはずです。“お手本”をそのまま真似てしまうと、問題まで持ち込む危険があるのです。

【組織は“ヒト”で構成されるから…】

問題を持ち込む危険が小さい時でも、組織は“ヒト”で成り立っていますから、構成員の考え方や得手不得手で、“組織体制の効果”は大きく左右されてしまうことがあります。

他の組織で上手く行ったことが、自社の組織で機能するとは限らないのです。

【人体の健康増強と同様に…】

それは、人体の健康と似ているかも知れません。体質や体力は“人それぞれ”で、万民に効く健康法は、むしろ考えにくいのです。

では、組織強化に“効果的な方法”は期待できないのでしょうか。もちろん、そんなことはありません。“方法”は確かに存在するのです。

【もちろん“方法”はある！】

ただし、その強化法とは、組織内で現れる問題や、見えない部分に隠れている問題の芽を丁寧に捉え、その問題が新たに発生しにくい“体制”を考えるという“地道”なものだと言えます。

これは一見“対症療法”的に見えますが、健康維持の課題と同様、実際の“様子”を見ながら、根気よく改善に努めて行く方法が、結果として、最も効率的な強化法かも知れないのです。

【学ぶべきは“問題克服力”】

その意味では、“他の組織”や“お手本的事例”から、学ぶべきことがあるとしたら、それは“体制”そのものではなく、“問題克服力”にあるのかも知れません。

そこで、まず、そうした考え方に至った“経営事例”について、取りまとめたマネジメント・レポートを、ご用意致しました。

【マネジメント・レポートを購読しませんか！】

ご用意したマネジメント・レポートは、**定購読期希望者は、完全版を送りますので、ぜひご一報ください。**



既に“有名”になっている企業の“組織力”にも、案外“弱点”が目につくものです。もちろん、そうした企業でも、順次“弱点”を克服しながら、更に強くなって行くのでしょう。

ただ、そう考えれば考える程、“弱点”が残る組織体制事例を“研究”するより、“問題克服力”のあり方に注目した方が、学ぶべきことが多いように感じて来るのです。今月は、そんな“実感”に至る体験をされた経営者のお話です…。

中堅中小企業の皆様に、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぷりめんとニュース』に、ご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所

TEL : 022-292-2351

FAX : 022-292-2352

URL : <http://www.henmi-adm.jp/>